

週報



2006～2007 年度

2007年 5月28日 第1829回 本年度第37回

国際ロータリー
第2560地区

Sanjo Minami Rotary Club

2006～07年度
クラブ会報特別企画

- 【出席率】 会員61名中38名
【先々週の出席率】 87.72%
【ゲスト】 三条市立図書館 館長 羽賀吉昭様
【ビジター】 三条RCより 五十嵐晋三君
三条東RCより 栗山正男君
【先週のメイクアップ】
5/26 ガバナー連絡会へ 馬場信彦君 菫澤喜一郎君



あの人 あの時
岡村 一男 君

会長挨拶

馬場 一敏 会長

挨拶致します。

本日は、三条市立図書館館長 羽賀吉昭様の卓話です。よろしくお願い致します。

5月は、最初は「連休あり」「三条祭」と何かとせわしい月です。ロータリーについても『地区協議会』、『家庭会合』と地区及びクラブの行事で土曜日は休みがなかなかとれない状況でした。また、個人的にも各業界の総会が多く公私ともに忙しいという方が5月は特に多いようです。

日差しも一日一日と強くなり、夏を思わせるようになって来ました。空気が乾燥して朝晩寒いくらいですが、これからは蒸し暑くなり、仕事の終わった後、冷たいビールの楽しみとなります。

しかし、三条市の場合は、6月、7月は近年の水害経験からまた雨を心配しなければならない時期です。三条新聞にて、三条市の水防体制について先日報道されました。

五十嵐川は改良工事中です。一定量の雨は当然降るものと「気」の抜けた月になります。

何しろ我家の前の川は毎年道まであふれ、玄関の近くまで水がくるからです。自宅には水が入らないのですが敷地内の泥出しは毎年の行事です。三条市内の一級河川で、布施川が一番改修の遅れている川と思います。しかし、住めば「都」で慣れるなれるもので、特別に「苦」になりません。

梅雨の前に雨量の心配をする時期になりました。まだ早いのですが、適度な雨量になることを祈り、挨拶を終わります。

国際ロータリー会長
第2560地区ガバナー

第4分区アシスタントガバナー

会長 馬場 一敏

三条南ロータリー事務局

ウィリアム ビル ボイド [ニュージーランド]

中 條 耕 二 [三条北]

桑 原 寛 治 [加 茂]

幹 事 田 代 徳 太 郎

SAA 広 岡 豊 樹

〒955-8666 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内

TEL 0256-35-3477 Fax 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp URL <http://www.sanjo-minami.jp>

●中條ガバナー事務所より、能登半島地震義捐金協力のお礼状が届いております。

一週間を振り返り・・・心とほほえましいお話をBOXへ



ニコニコボックス

～ 5月28日 14,000円 今年度累計 937,000円 ～

- 馬場（一）君 羽賀さん、卓話よろしくお願い致します。
 田代君 市立図書館長、羽賀様、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願い致します。
 長谷川君 本年度最後の卓話当番です。「三条城」の興味深いお話を図書館々長の羽賀様から伺うことに致しました。よろしくお願い致します。
- 田中（久）君 羽賀館長様の本日の卓話、ご苦労さまです。郷土のお話、楽しみにしております。
 佐藤（秀）君 羽賀館長さん、卓話楽しみです。BOXに協力。
 野島君 羽賀館長さん、今日はご苦労様です。よろしくお願い致します。
 相田君 26日、今年も交通安全チャリティーゴルフ大会が盛大に行われ、多額の協賛がありました。BOXへ協力。
- ？ 君 松崎さんと目が合いましたのでBOXに協力！！
 熊倉、坂本君、佐々木君、滝口君、田中（悌）君
 BOXに協力致します。

6月のお祝い

会員誕生

2日・・・熊倉高志君
 11日・・・馬場茂夫君
 18日・・・滝口恵介君
 21日・・・田中悌司君



10日・・・天田 匡君
 15日・・・相田明雄君
 18日・・・渡邊光郎君
 21日・・・星野健司君

夫人誕生

6日・・・西野敏江（治邦）さん
 26日・・・山村良子（登）さん

18日・・・田中寿満子（久作）さん

結婚記念

10日・・・佐々木常行君・朋子さん
 14日・・・大溪秀夫君・明子さん

10日・・・平松修之君・貴子さん
 30日・・・岡村一男君・文美さん

* * * おめでとうございます * * *

「三条城の跡を探る」

三条市立図書館館長 羽賀吉昭様



本日は三条城の話をしてみたいと思っております。三条城といいますと、皆様方は、「須頃にあった島城」だと思われれます。歴史好きの人ほど、三条城は須頃、それも旧競馬場にあったと信じられているようです。旧競馬場の一角に立派な石碑まで建っていますので、そう信じられるのは無理もないと思われれます。

しかし、最近では、須頃三条城説について多くの疑問が出されております。ここではいちいち、須頃説に反論はしませんが、私自身は、三条の城は須頃にはなく、三条にあったと確信しております。須頃は今では三条市内ですが、江戸時代以前は三条には含まれていません。須頃と三条は明確に名前が違っていることをみても、須頃説は受け入れられません。

さて、今日述べる三条城は、大阪城夏の陣で豊臣家が滅びたその翌年の元和2年（1616年）、市橋長勝が4万1千石の大名として、三条に入封したときに作られとされる三条城についてであります。もっとも、三条の地は、記録に現れただけでも、足利時代の1426年から、山吉氏、神余氏、甘糟氏、堀氏、松平氏の5家が大名として支配していた土地でありますので、市橋氏が三条に来た時点でも、それら前の大名の城が残っており、その残った城の縄張りを一部変更して、築城したものと考えております。そうでなければ、市橋氏が、滋賀県へ移封するまでの4年間でこんな大きな城を新たに築けなかったと思われれます。市橋氏あしかけ4年、その後、稲垣氏3年、都合7年弱で三条藩は消滅します。なぜか、そのあと大名が三条に配置されることは無かったのです。その後、藩士たちの居住区に町民が住み着き商売で暮らしを立ててゆきます。この城下町から商人町への転換が、商人町としての三条の繁栄をもたらした原点であります。

さて、そんな三条城ですが、ではどこに城があったのでしょうか？現在は石垣も残されていませんし、矢倉、堀もありません。地形から想像もできないようですが、幸いなことに、文政8年（1825）に作られた古地図からその形が想像できます。皆様のお手元に置けばりした地図で確認してください。

三条城は東西約400m、南北450mの城域を持った立派な城であったことがわかります。

城の東側は、今のロイヤルホテルの地点で、西側は旧神社庁の裏側あたりまでありました。南側の基点もロイヤルホテルから裏館の岩田眼科の裏あたりが城でした。

また、本丸は、信用金庫古城町支店から東側へ約108m、南北は102m、また、三条小学校の校舎の位置は、ほぼ城の二の丸に当たります。北三条駅のあたりが、旧三の丸に当たります。小出医院の裏にあったのが、いわゆる三条陣屋です。

地図を見て説明を聞いていただければ、土地勘のある方は納得いただけたと思います。現地を探訪すれば、この地図と同じような地形が今でもたどれます。そのため、三条歴史研究会では資料館と共同で、「歴史の町案内」事業を実施しています。事前に歴史民俗産業資料館へ申し込みいただければ、会員が現地を案内いたします。

この三条城跡を、一人でも多くの方に知っていただきたいと思い、この講和を引き受けました。皆様も折に触れ、城の事を宣伝していただけたら幸いです。

